

両側内側膝蓋大腿靭帯 (MPFL) 再建術を施行した ハイレベルスポーツ選手の2例

○黒田 雄一, 黒田 良祐, 松下 雄彦, 松本 知之, 川上 洋平, 黒坂 昌弘

神戸大学附属病院 整形外科

【目的】

スポーツ選手における内側膝蓋大腿靭帯 (MPFL) 再建術施行後の復帰に関する詳しい報告は少ない。今回我々は、ハイレベルスポーツ選手の両側反復性膝蓋骨脱臼に対して両側 MPFL 再建術を施行し、元のレベルに復帰した2例を経験したので報告する。

【症例】

症例1：19歳男性 バレーボール国体選手。バレーボールの競技中、ジャンプし着地した際に左膝蓋骨脱臼及び膝蓋骨軟骨骨折を受傷し他院にて骨接合術を施行。その後も脱臼を繰り返していたために左 MPFL 再建術施行。術後6ヶ月後に完全復帰したが、復帰後3年半後に同様の受傷機転にて右膝を受傷。右膝に対しても MPFL 再建術を施行し術後7ヶ月に完全復帰している。症例2：24歳女性 社会人ソフトボールチーム所属選手。14歳時にソフトボールの試合中、キャッチャーにて捕球時に両膝を捻り受傷。その後両側ともに脱臼を繰り返していたため両側 MPFL 再建術施行。術後10ヶ月後に完全復帰している。

【結語】

反復性膝蓋骨脱臼に対しての MPFL 再建術はハイレベルなスポーツ選手においても有効な治療法となり得る。